

平成21年3月期
決算説明会

平成21年5月20日

株式会社ジェイテクト

【第一部】

1. 平成21年3月期の業績

1-1). 財務データ

3

JTEKT

(億円)

	20年3月期	21年3月期	対前期比
売上高	11,575	10,170	87.9%
営業利益	776	223	28.8%
経常利益	728	111	15.2%
当期純利益	434	119	

21年3月期の特別損失の内容

	(億円)
固定資産除却損	22
減損損失	41
事業構造改善費用	24
その他	24
計	111

1-2). 財務データ

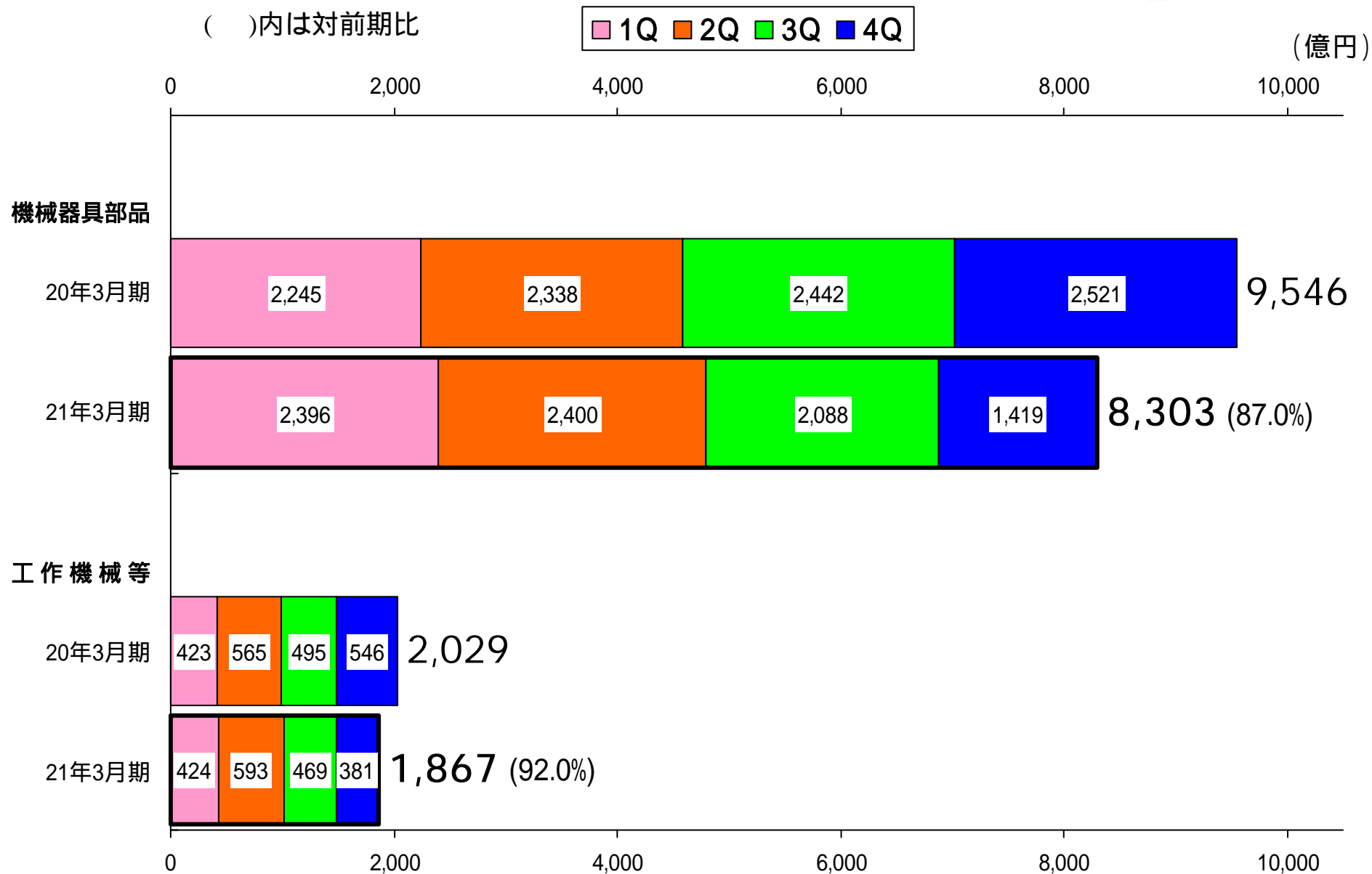
5

JTEKT

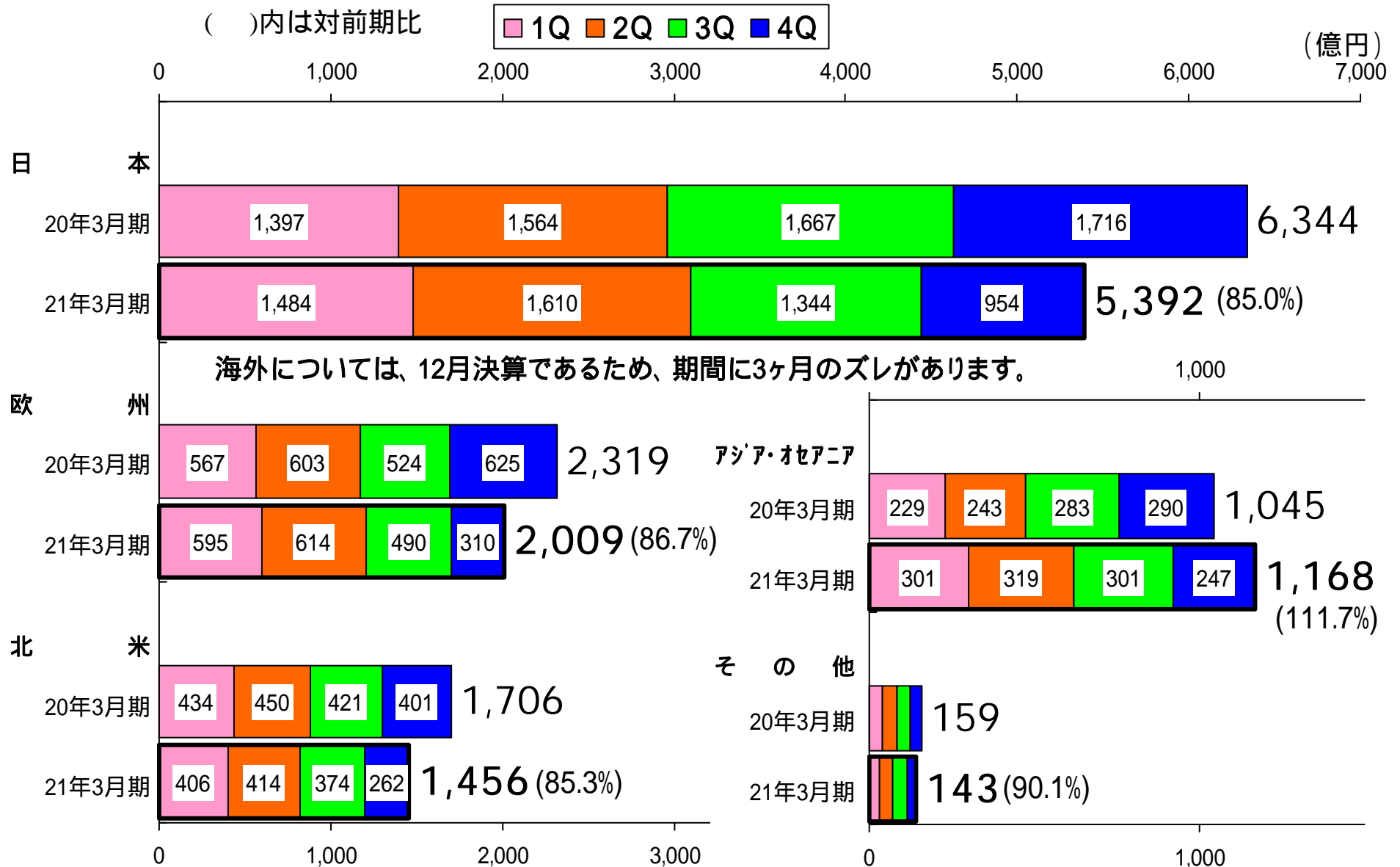
(億円)

	20年3月期	21年3月期	対前期比
棚卸資産	1,304	1,277	97.9%
有利子負債	1,885	2,162	114.7%
設備投資額	589	511	86.7%
減価償却費	510	558	109.3%

1-3). 事業別売上高



1-4). 地域別売上高

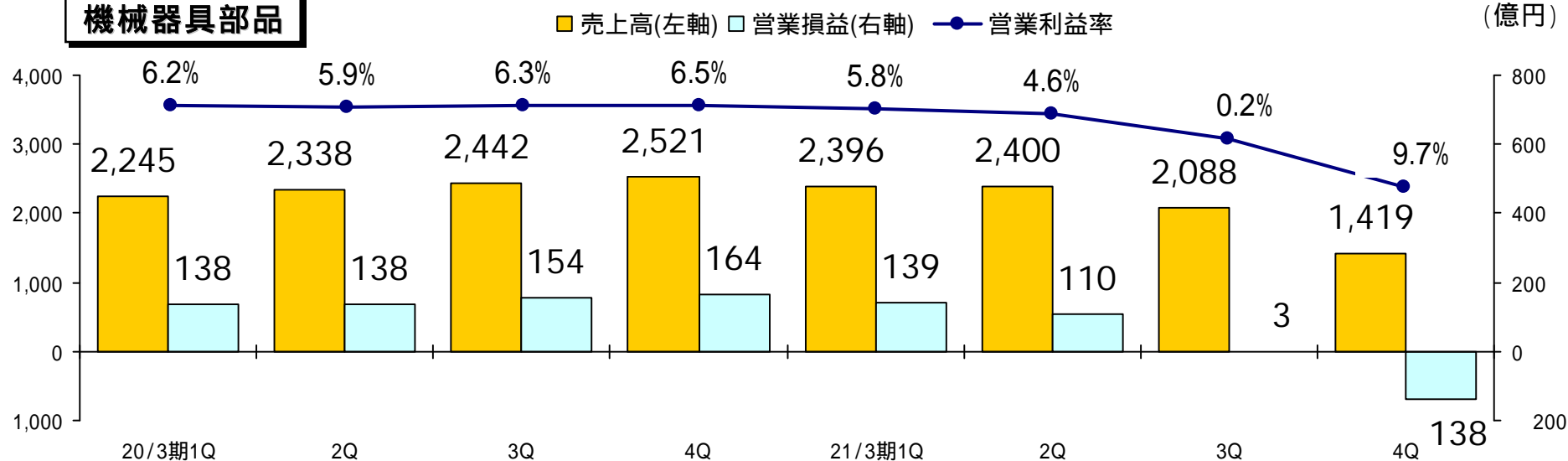


1-5). 事業別営業利益

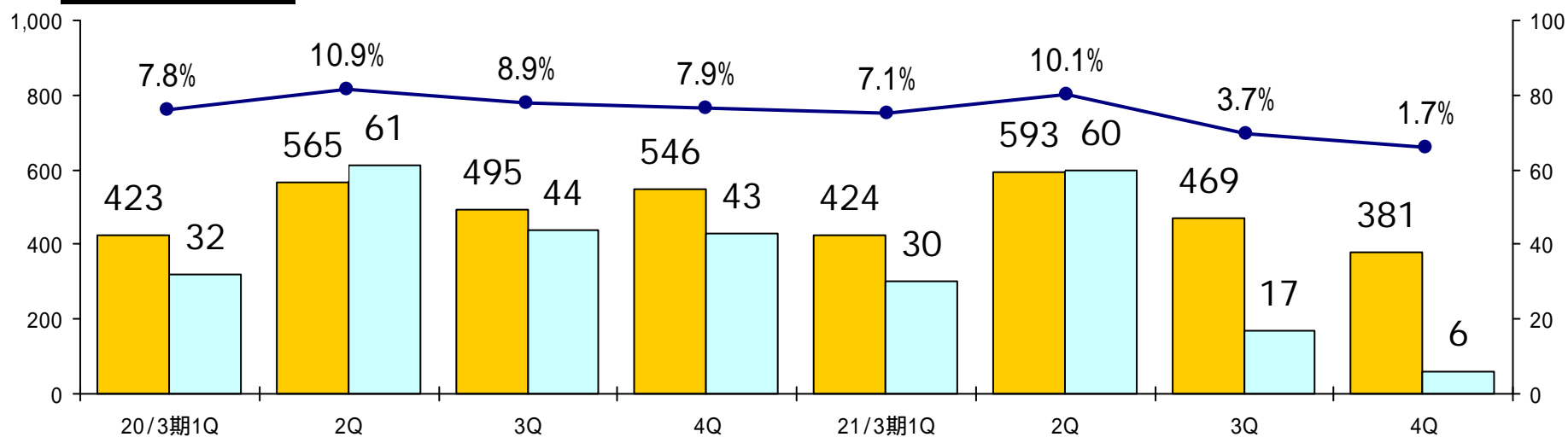


セグメント間の「消去」については記載していません。

機械器具部品



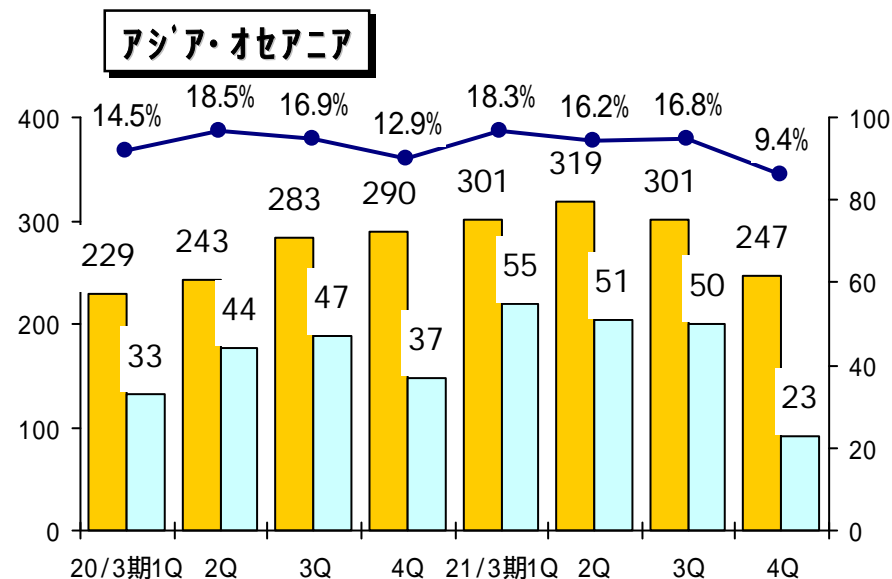
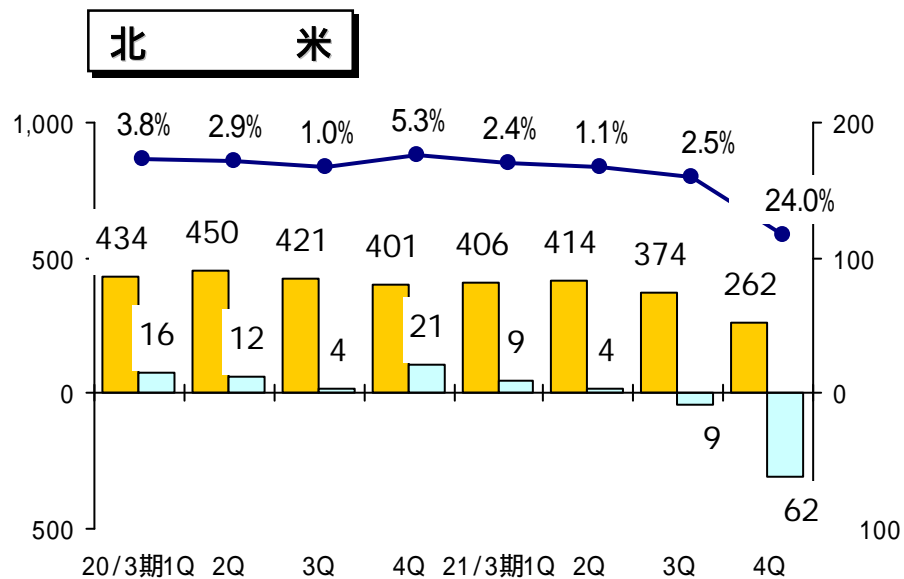
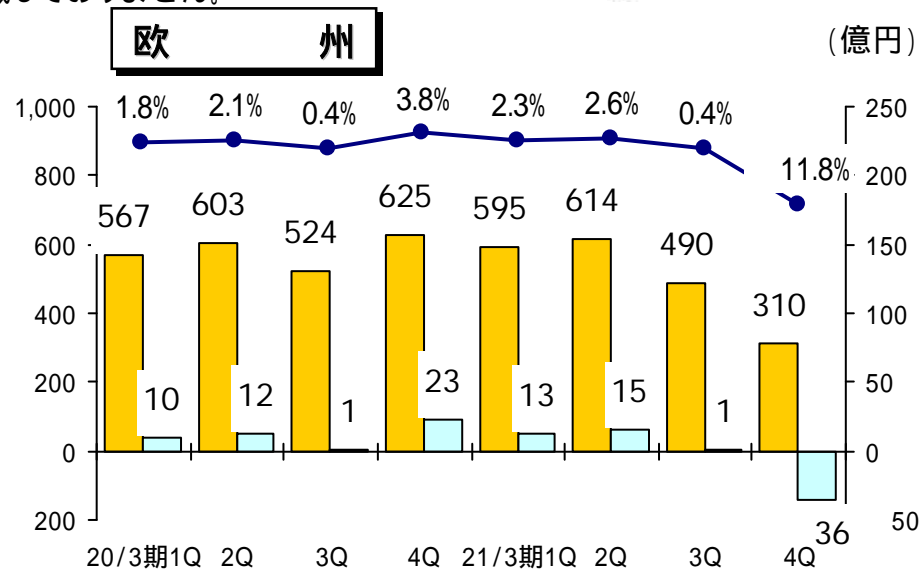
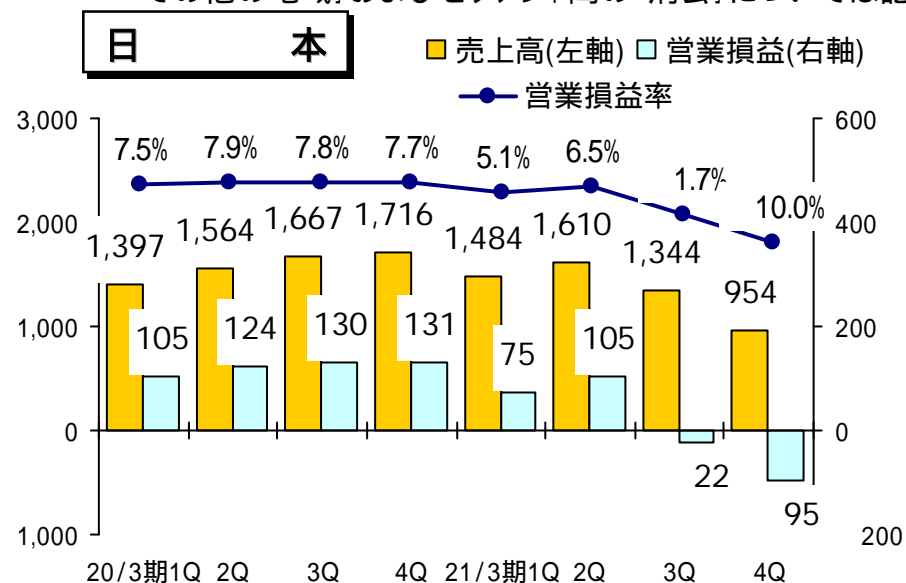
工作機械等



1-6). 地域別営業利益



「その他の地域」およびセグメント間の「消去」については記載していません。



2. 平成22年3月期の事業計画

2-1). 財務データ

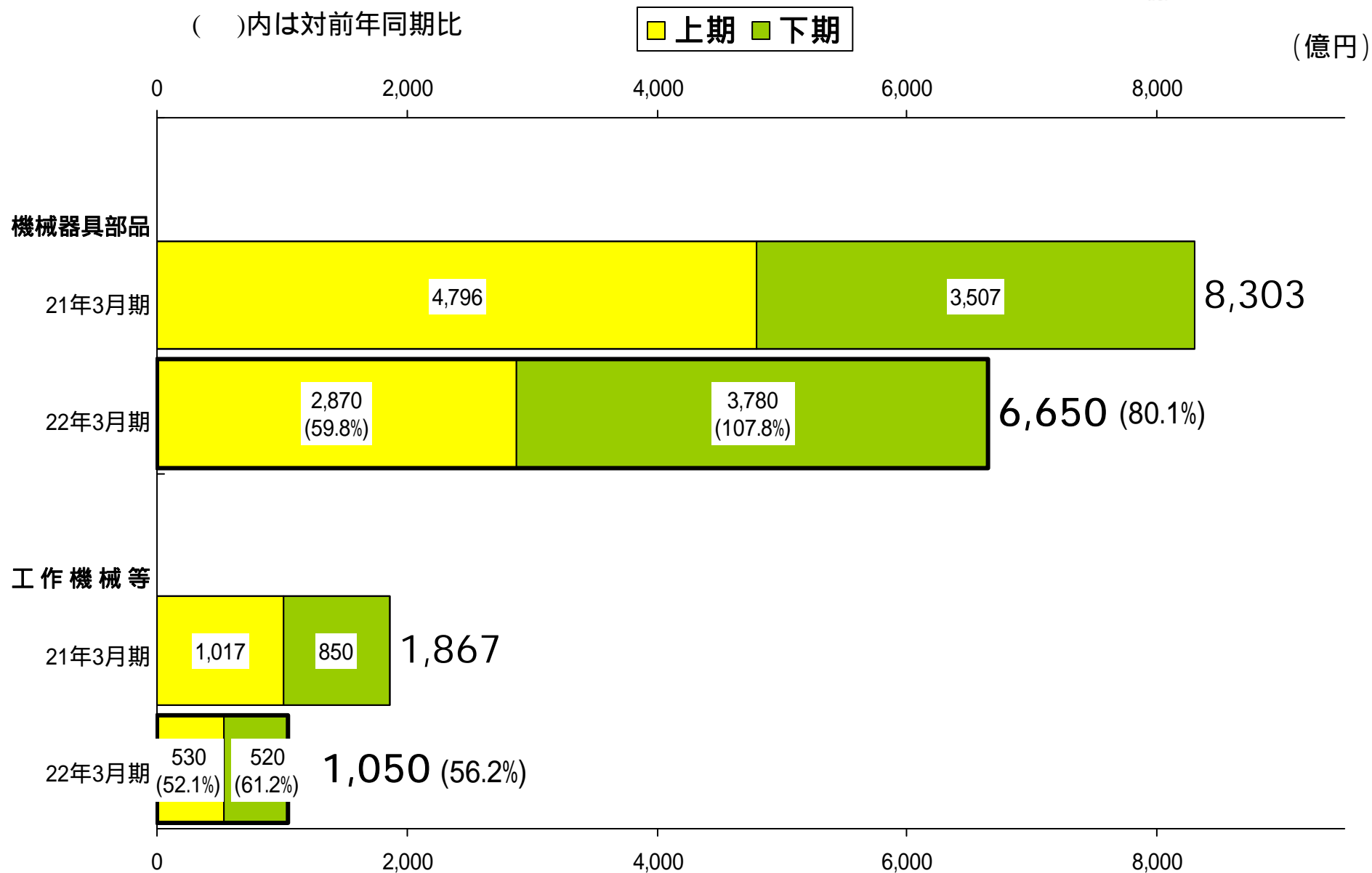
11

JTEKT

(億円)

	21年3月期	前提為替レート		22年3月期	対前期比
		U S \$	95.00		
		E U R O	125.00		
売 上 高	10,170			7,700	75.7%
営 業 利 益	223			200	
経 常 利 益	111			220	
当 期 純 利 益	119			230	
設 備 投 資 額	511			380	74.4%
減 価 償 却 費	558			520	93.1%

2-2). 事業別売上高



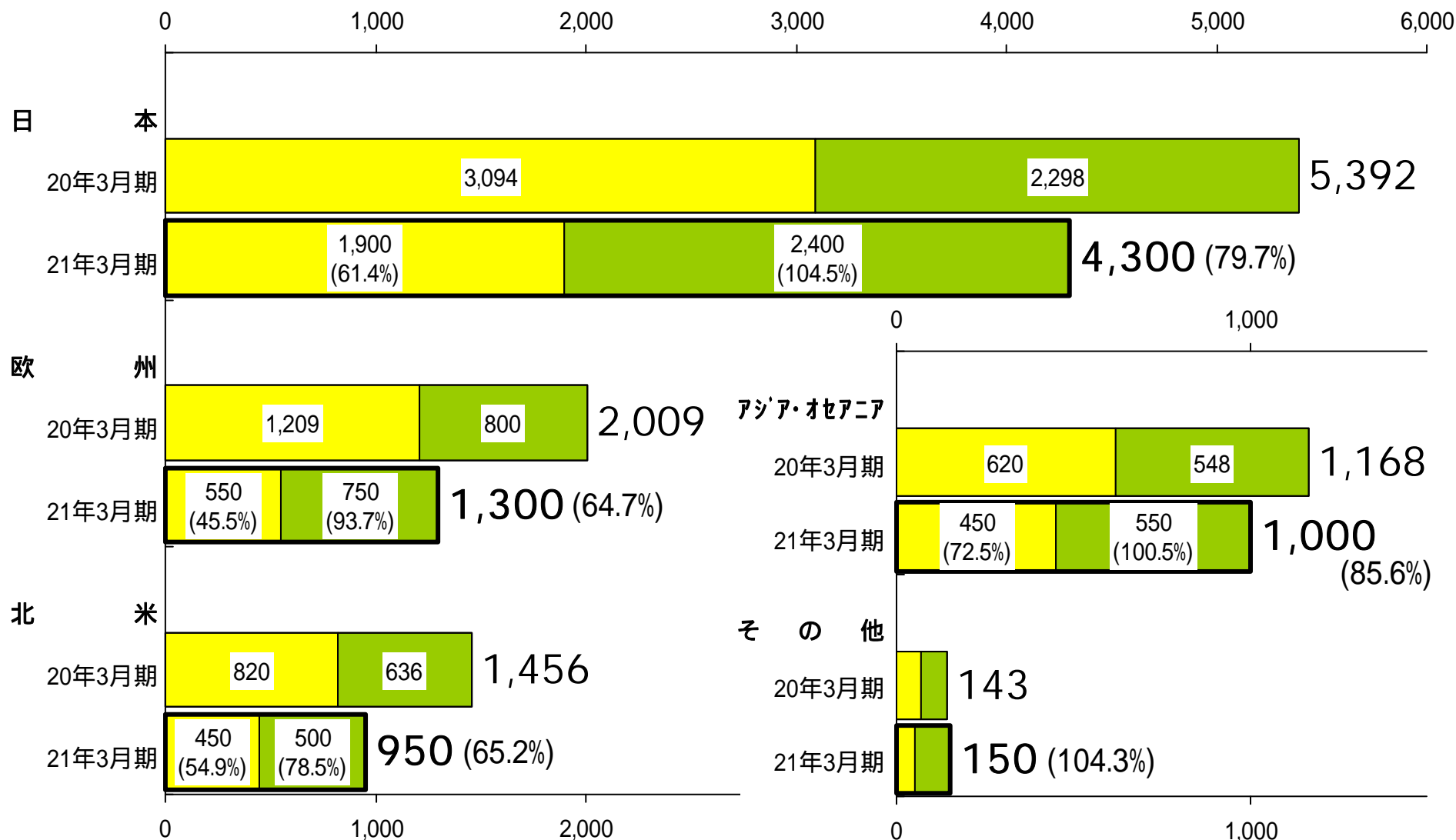
2-3). 地域別売上高



()内は対前年同期比

■ 上期 ■ 下期

(億円)



【第二部】

1. 2009年度 取り組み姿勢

2. 経営課題と重点方針

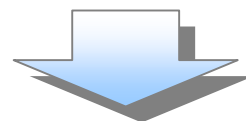
3. 「収益基盤」の再構築

4. 将来の成長に向けた事業戦略の展開

5. まとめ

2009年度 スローガン

ジェイテクトグループ「総力」の結集による、
『黒字化』への目処づけ



基本姿勢

現場の変化を自分の目でしっかり捉える
現場の変化スピードに即応した、
管理サイクルの徹底的な短縮
すべての行動を原価低減につなげる

1. 2009年度 取り組み姿勢

2. 経営課題と重点方針

3. 「収益基盤」の再構築

4. 将来の成長に向けた事業戦略の展開

5. まとめ

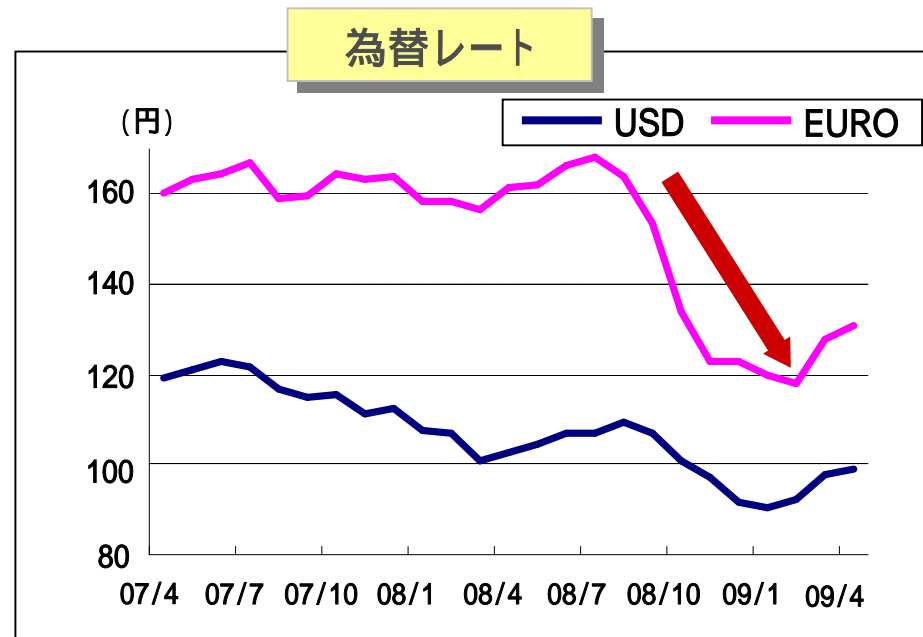
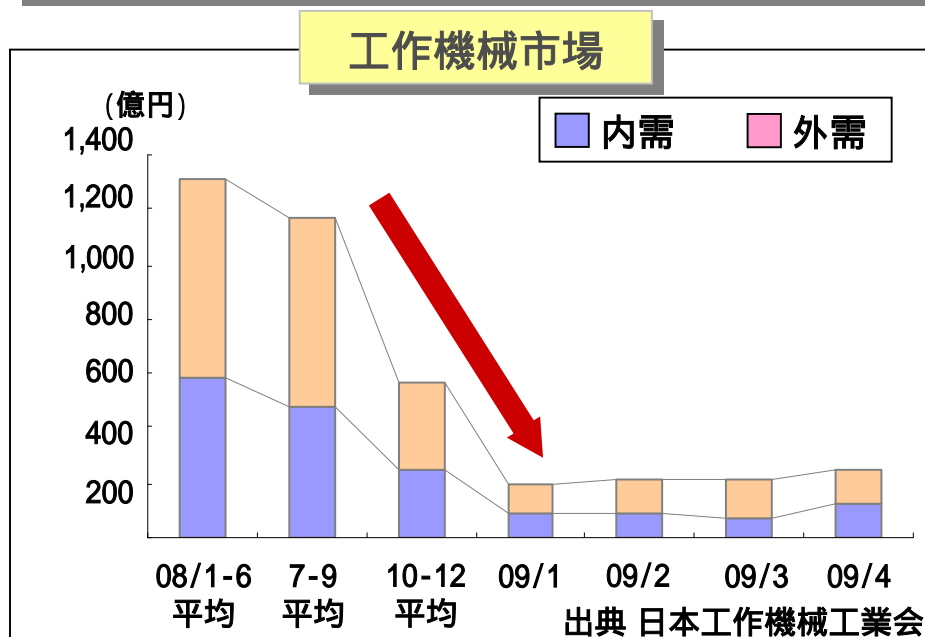
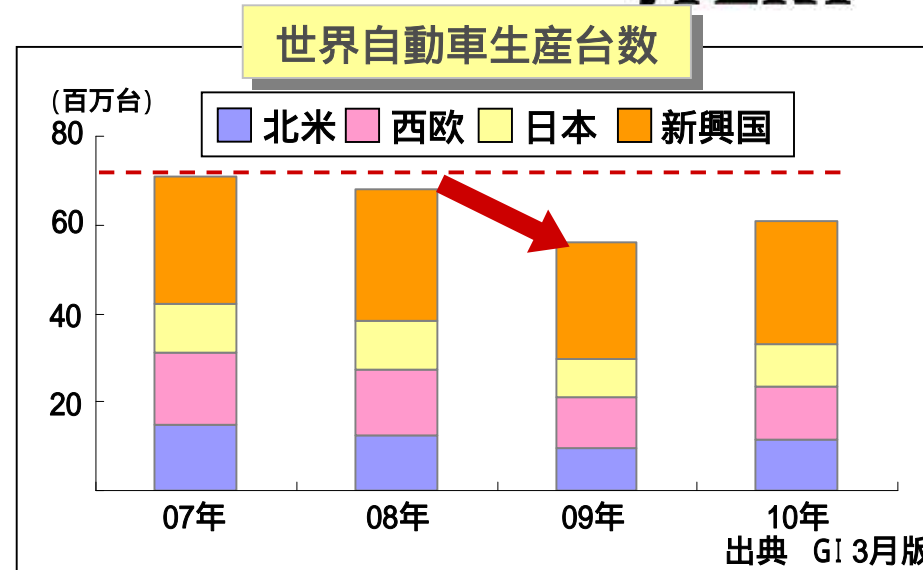
2-1). 経営課題と重点方針 現在のマーケット状況



< 世界自動車生産台数 >
 09年は先進国を中心に急減

< 工作機械市場(日工会) >
 内需・外需とも受注急減

< 為替レート >
 2008年後半から急激な円高



2-2). 経営課題と重点方針

< 経営課題 >

2009年の市場規模で
利益を確保する
収益体質への変革

為替変動に柔軟に対応
できる企業体質の構築

市場回復時に向けた
事業構造の整備・構築

< 重点方針 >

(1) 「収益基盤」の再構築

(2) 将来の成長に向けた
事業戦略の展開

1. 2009年度 取り組み姿勢

2. 経営課題と重点方針

3. 「収益基盤」の再構築

4. 将来の成長に向けた事業戦略の展開

5. まとめ

3. 「収益基盤」の再構築

20



取り組みの着眼点

～ 変動費の完全な変動費化～
～ 生産規模に応じた固定費の削減～

3-1). グローバル人員調整と人材有効活用

3-2). 設備のグループ内製化拡大

3-3). グローバル生産体制の再構築

3-4). 物流改善の取り組み

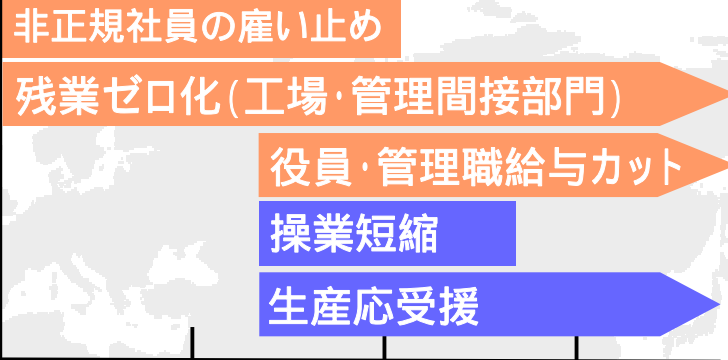
3-5). 「収益基盤」の再構築のまとめ

3-1). グローバル人員調整と人材有効活用



実施内容

<ジェイテクト>



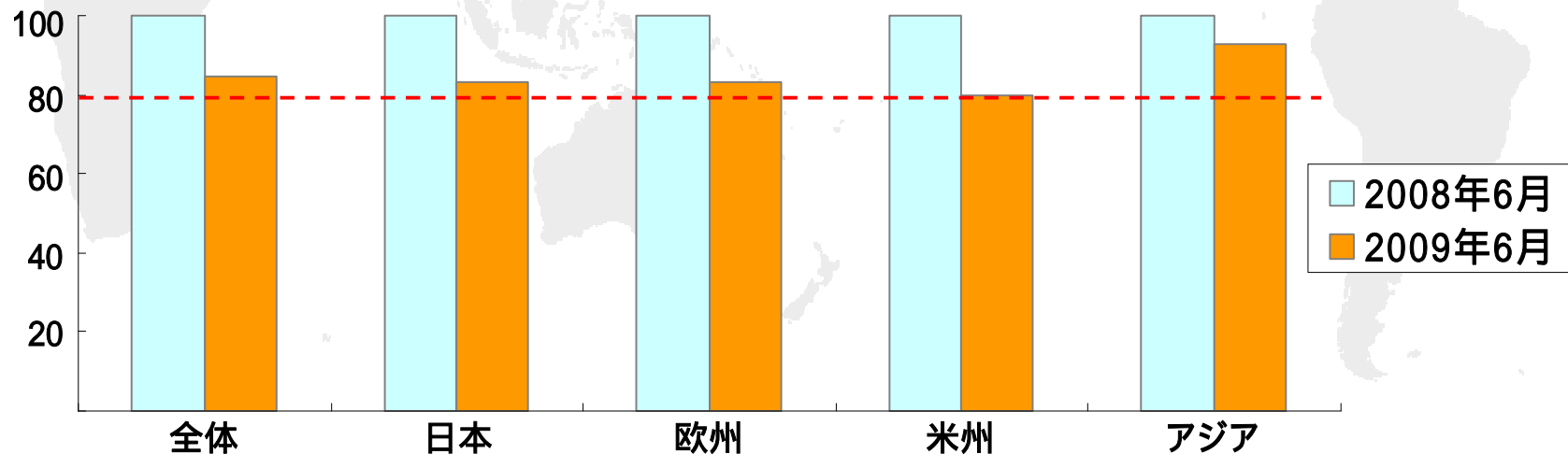
<海外>

非正規社員ゼロ化
 自宅待機
 一時帰休
 希望早期定年退職
 希望退職

08 / 10 09 / 1 09 / 4 09 / 7

地域別人員の推移

2009年6月は2008年6月を100とした場合の指数

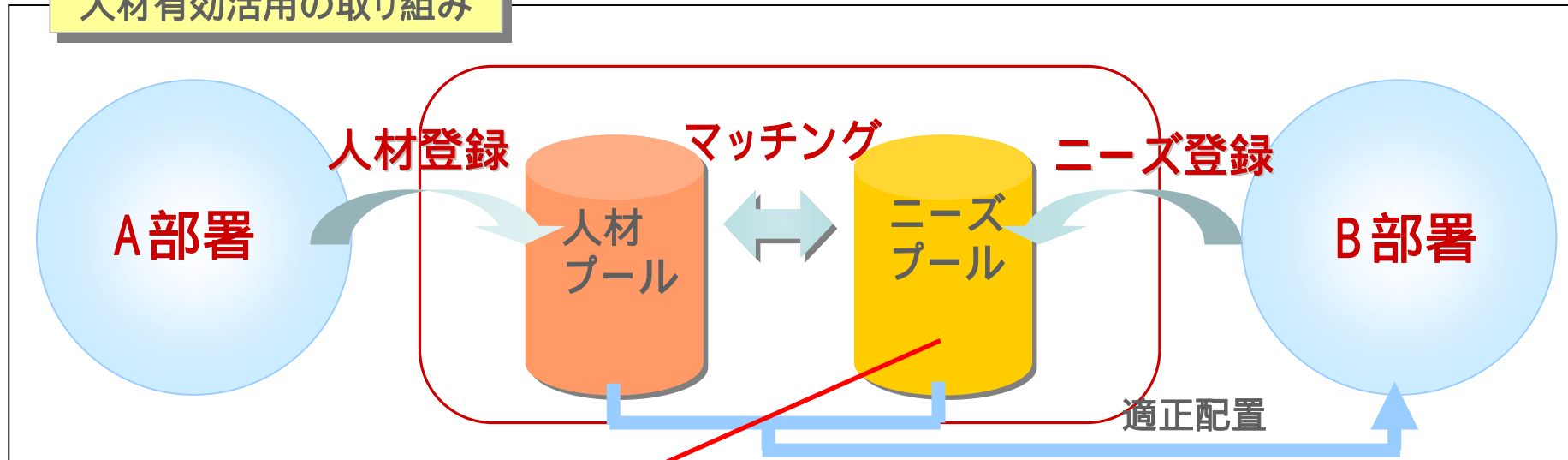


3-1). グローバル人員調整と人材有効活用

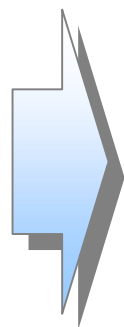
人材有効活用



人材有効活用の取り組み



< 重点分野へのシフト >



重点
取り
組み

販売技術の強化

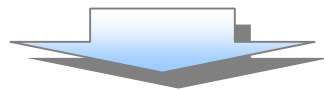
需要動向に対応した商品開発

商品競争力の向上

3-2). 設備のグループ内製化拡大

<シナジー効果創出の取り組み>

工作機械事業を基盤とした
モノづくり革新による競争力の向上
工作機械技術の活用による
生産技術革新
設備の内製化



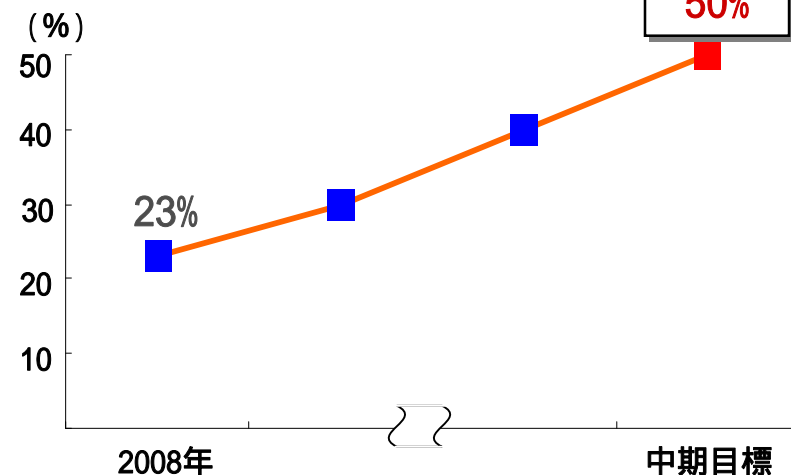
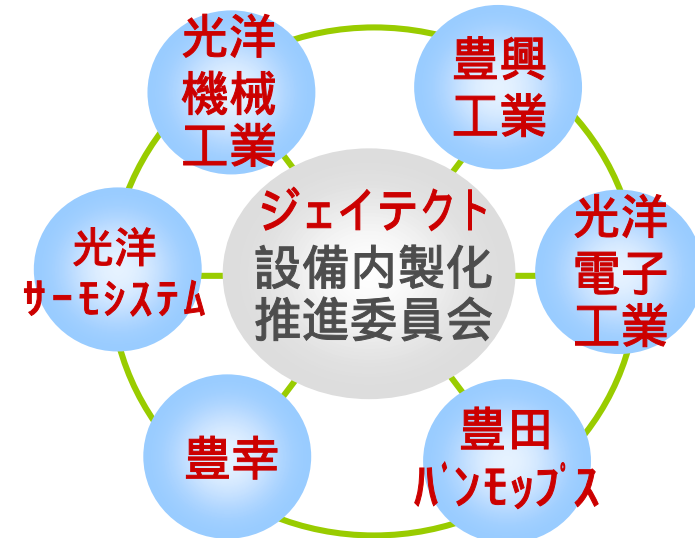
グループ内製化の拡大

内製化のねらい

内製化による「生産技術の手の内化」
革新設備、工法開発による
商品競争力の向上
「個別設備開発」から「ライン開発」へ

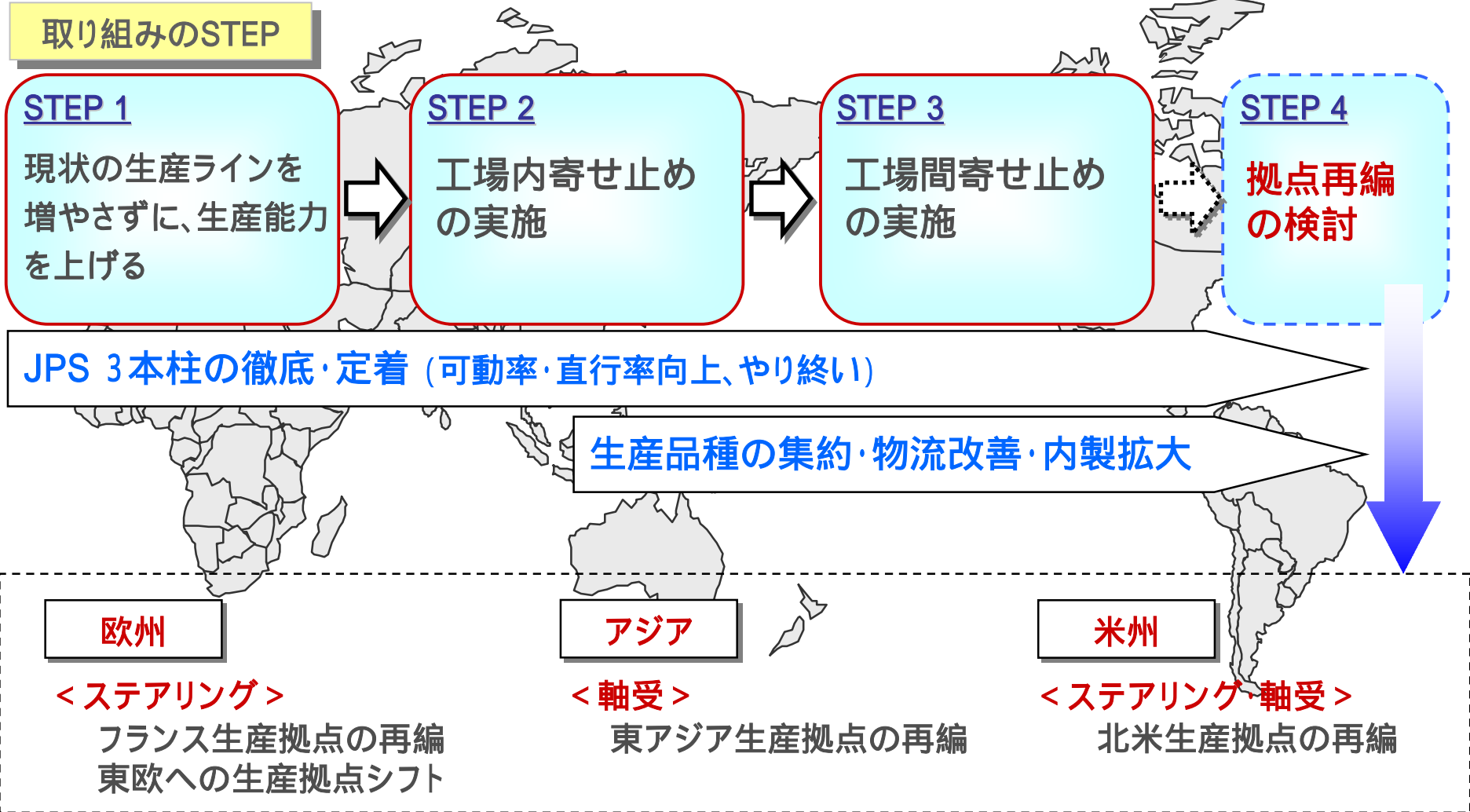
内製率の中期目標(単体) **50%**

グループ内製化推進体制





需要変動に柔軟に対応できる生産拠点再編の検討



3-4). 物流改善の取り組み



日本での改善事例

< ステアリングの遠隔地物流改善(奈良県 岩手県) >

運送効率向上

品質最優先

改善点

完成品荷姿運送

長距離トラック運送 + 船便

ユニット品運送 + お客様の近くで組立

短距離トラック運送 + JR貨物

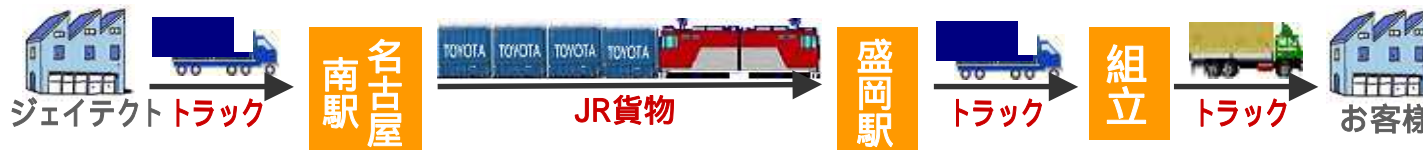
効果 物流費削減 130百万円 / 年

九州向け物流にも展開

改善前



改善後



北米での改善事例

改善点

価格競争力のある運送会社への変更

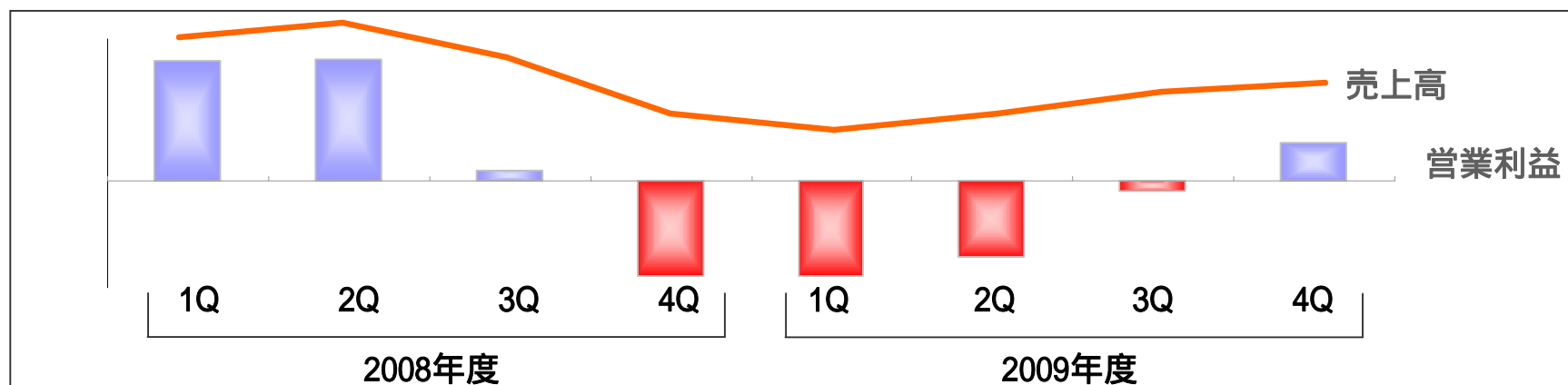
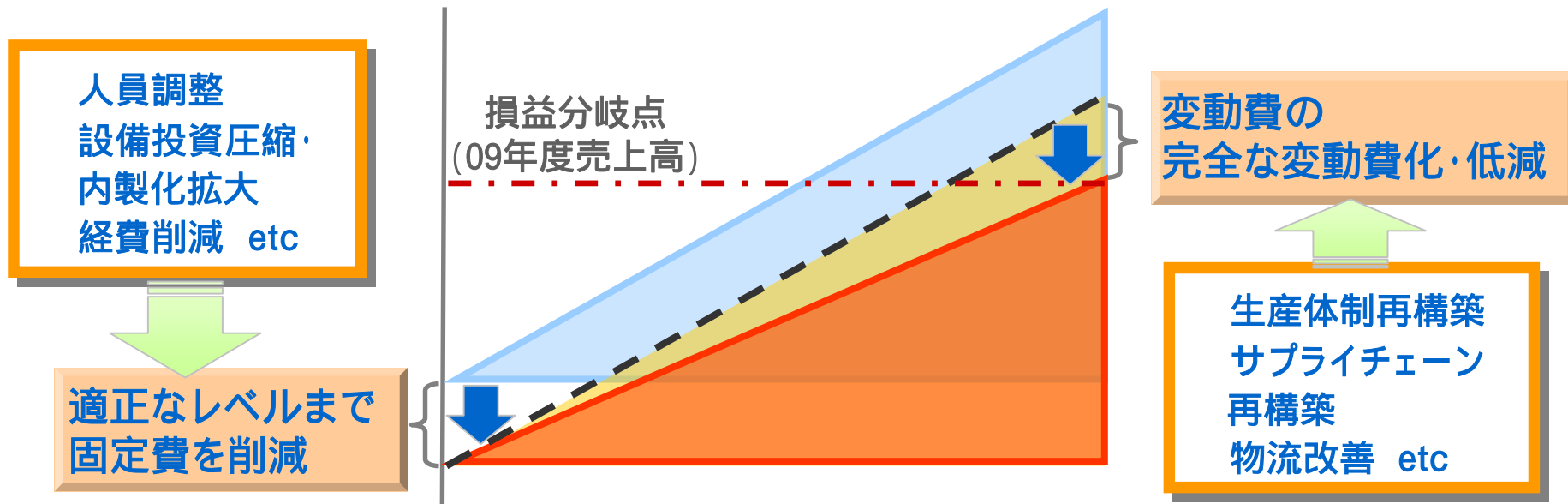
定期便から満載不定期便への変更

運送ルート(ミルクラン)への変更

効果 300百万円 / 年

3-5). 「収益基盤」の再構築のまとめ

2009年度の売上・為替水準で利益を確保する収益体質へ



1. 2009年度 取り組み姿勢

2. 経営課題と重点方針

3. 「収益基盤」の再構築

4. 将来の成長に向けた事業戦略の展開

5. まとめ

4. 将来の成長に向けた事業戦略の展開

29

JTEKT

4-1). 今後のマーケット動向

4-2). 新興国市場における事業強化

自動車部品の事業戦略
技術開発の方向性

4-3). 産業機械市場における事業強化

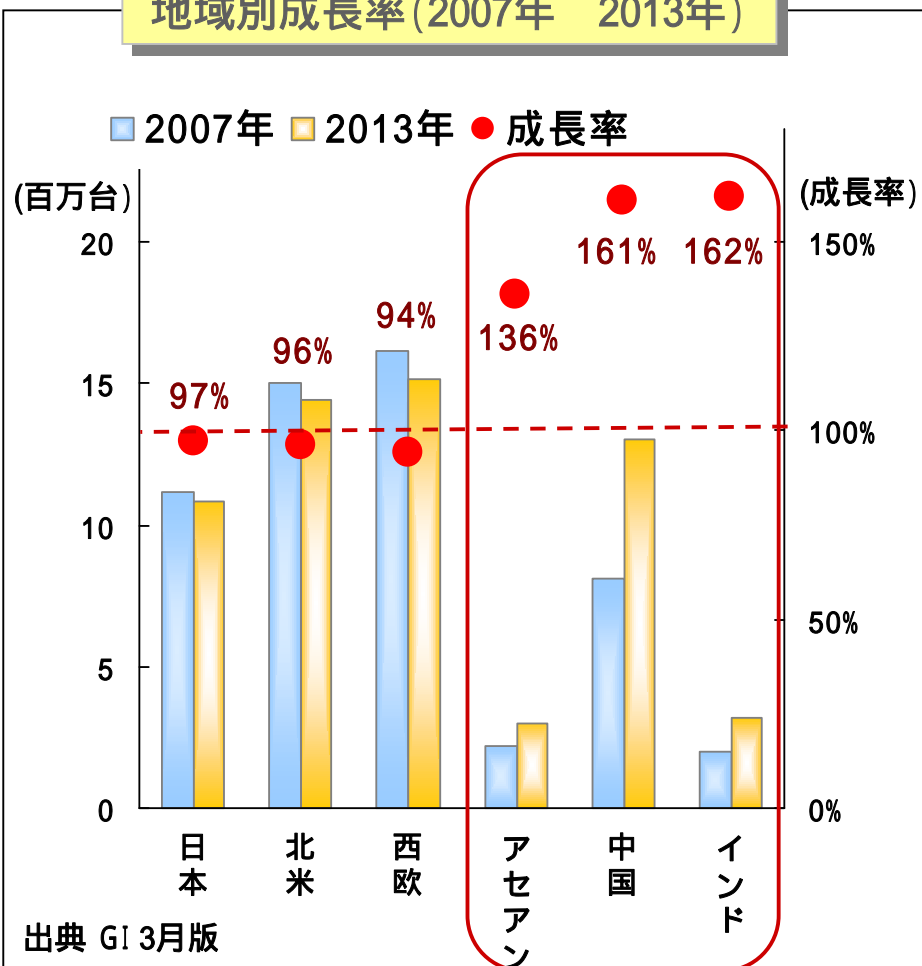
軸受・設備関連の事業戦略
軸受事業の取り組み
設備関連事業の取り組み

4-1). 今後のマーケット動向

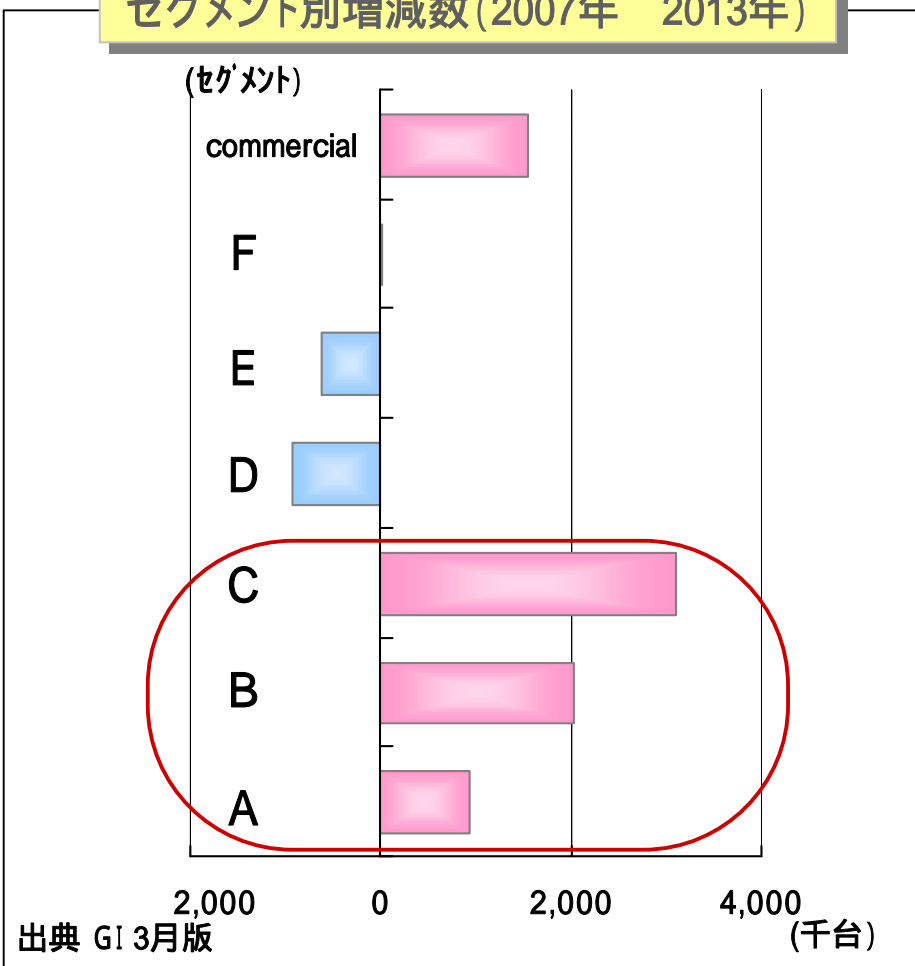
自動車市場



地域別成長率 (2007年 2013年)



セグメント別増減数 (2007年 2013年)



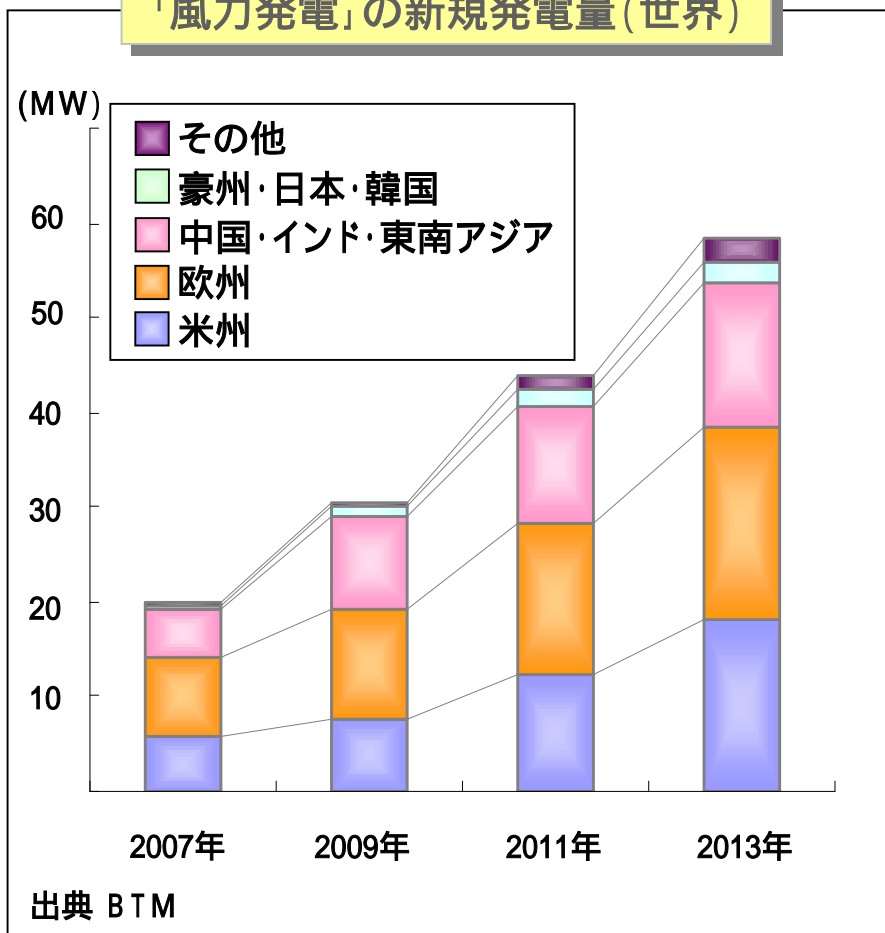
新興国の成長が顕著 & 小型車の増加が鮮明

4-1). 今後のマーケット動向

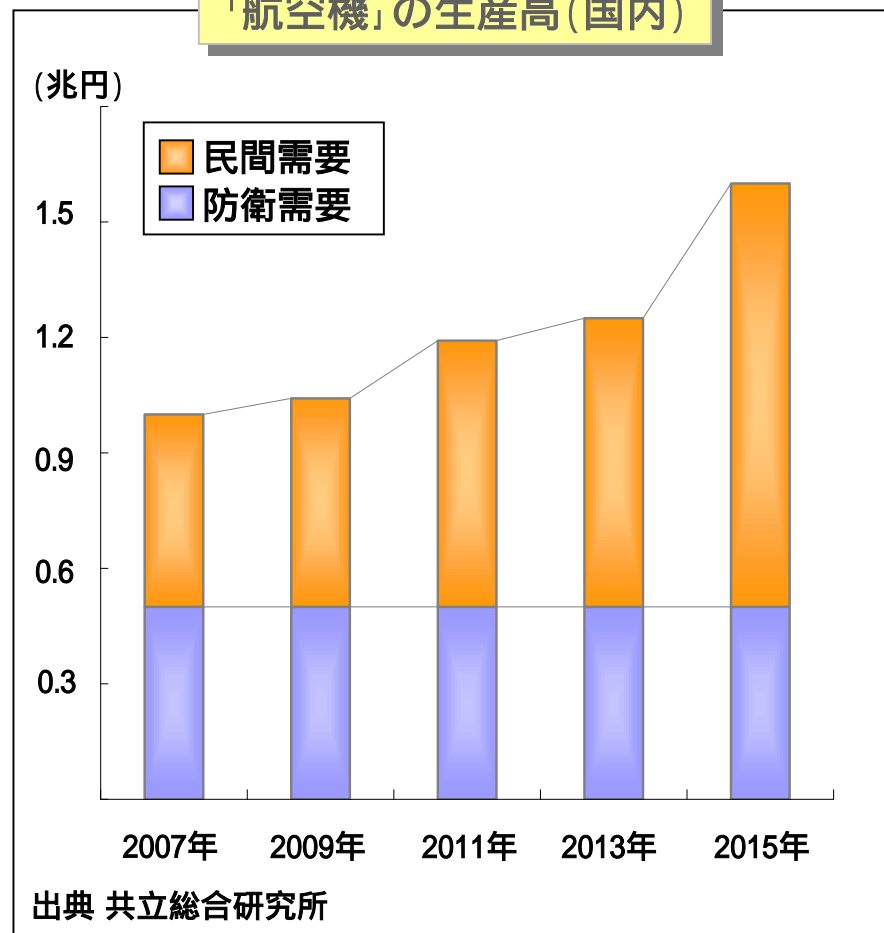
産業機械市場



「風力発電」の新規発電量(世界)



「航空機」の生産高(国内)

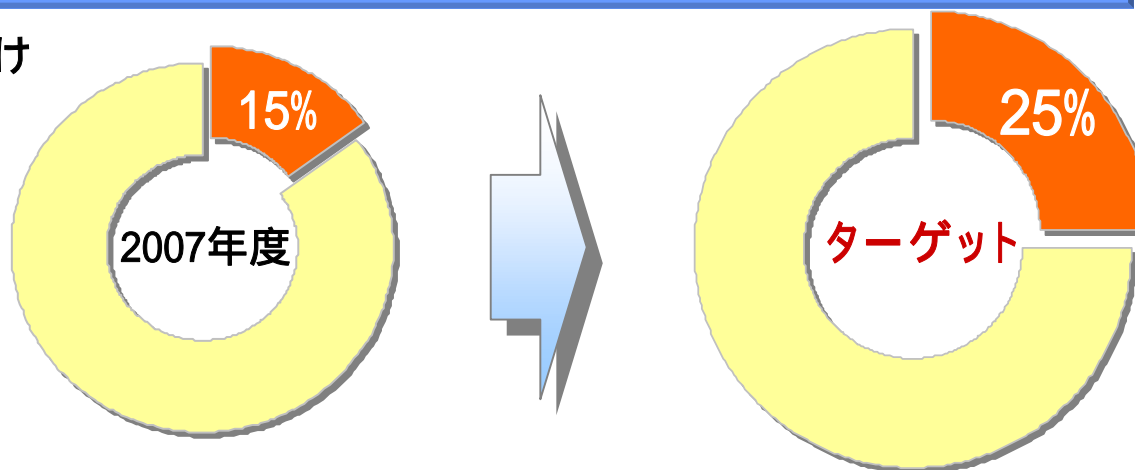


エネルギー・航空機分野等の継続的な成長分野が健在

地域別売上構成

自動車関連分野では新興国市場の重要性が増大

- 新興国(日米欧以外)向け
- 日米欧向け



新興国市場における事業戦略

<これまでの方策>

生産拠点の新設・増強
販売拠点の整備・強化
技術開発体制の強化



<今後の方策>

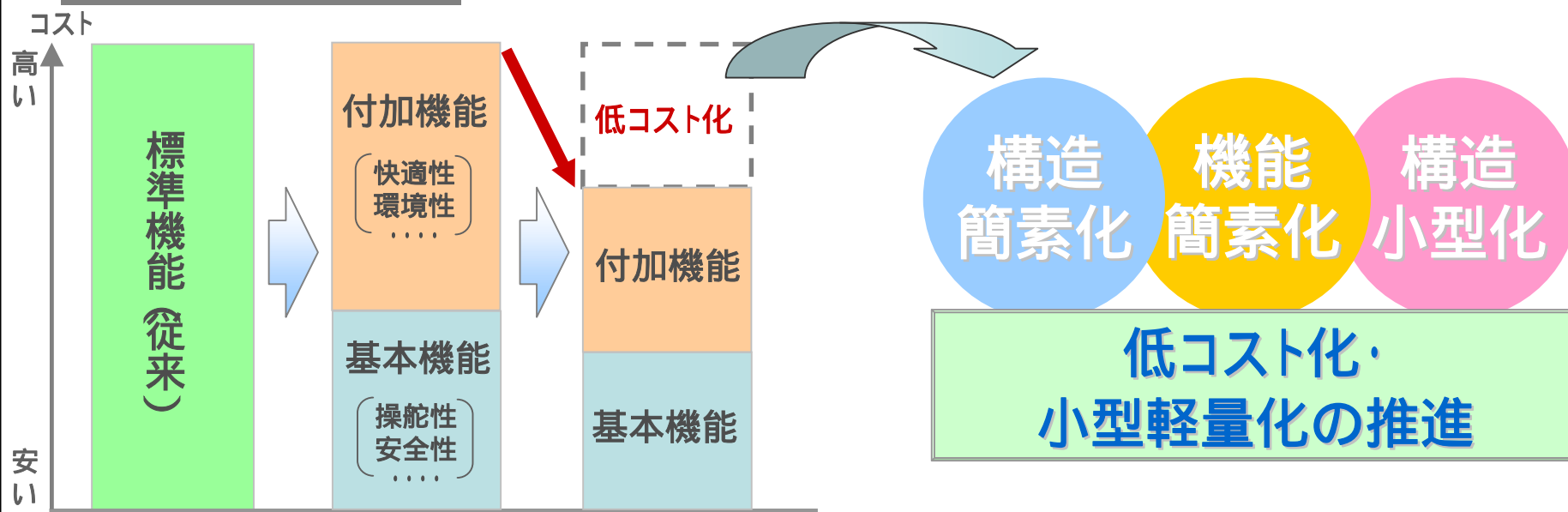
需要動向の変化を
重点思考で的確に反映した
商品の早期開発

技術開発の方向性

小型車 (A・B・Cセグメント) 市場の伸びに対応

低価格ニーズに応える価格競争力強化への対応

技術開発のポイント



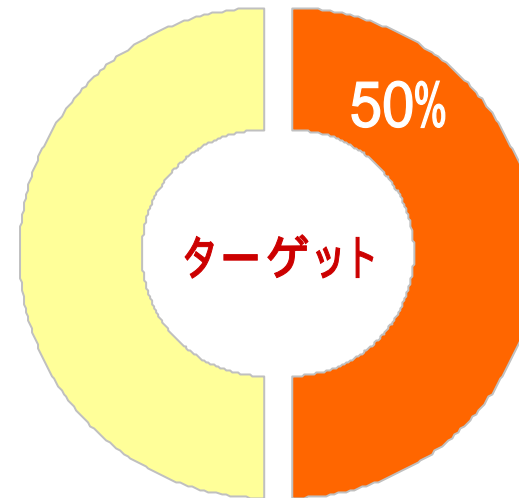
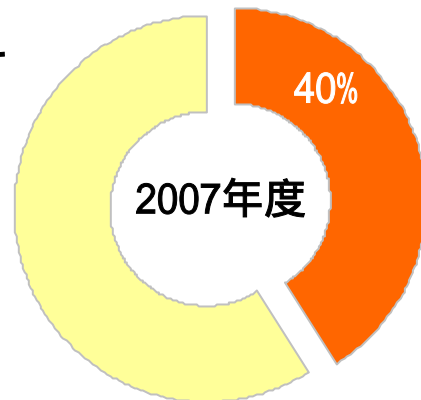
4-3). 産業機械市場における事業強化

事業戦略



顧客別売上構成 (軸受・設備関連事業)

- 産業機械向け
- 自動車関連向け



軸受・設備関連の事業戦略

軸受
事業

方
策

重点分野における技術開発力の強化

海外市場での販売技術体制の強化

ジェイテクトグループ連携の強化

設備
関連
事業

成長マーケットに対応した技術開発・販売体制の強化

4-3). 産業機械市場における事業強化

軸受事業の取り組み



技術開発力の強化

重点分野

風力発電

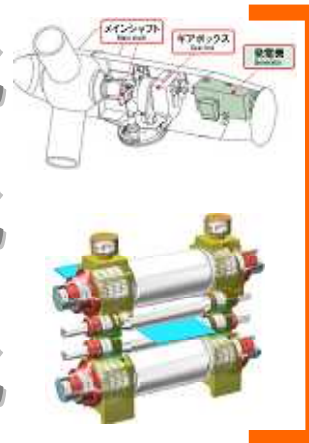
超大型化

鉄鋼

長寿命化

工作機械

超高速化



生・販・技の融合
(コンセプトイン)

リソース再配分
(自動車 産機)

販売体制の強化

インド: 軸受販売会社設立

KOYO BEARINGS INDIA Private Limited

2009年4月設立

販売目標 2012年 26億円



KBIN
(バンガロール)

中国: 販売網の強化・拡充

販売技術要員の増強

販売代理店網の整備

- 生産拠点 5拠点
(大連・無錫・佛山)
- 販売拠点 4拠点
(上海・北京・天津・広州)



4-3). 産業機械分野における事業強化

設備関連事業の取り組み³⁶



設備関連事業のグループ連携

三井精機工業、光洋機械工業との3社連携プロジェクト

要素技術共有による開発効率向上
販売リソースの相互活用



技術力・
営業力の強化

産業機械・エネルギー・航空機分野の商品ラインアップ充実

複合化・5軸化のシリーズ化を推進



2009年度
15機種投入



横形マシニングセンタ
エネルギー、建機分野



立形マシニングセンタ
産業機械、航空機分野



TG5 複合研削盤
産業機械分野



太陽光発電用横形炉
太陽光発電パネル

1. 2009年度 取り組み姿勢

2. 経営課題と重点方針

3. 「収益基盤」の再構築

4. 将来の成長に向けた事業戦略の展開

5. まとめ

